

7日 火曜

箴言

13:1 知恵のある子は父の訓戒を聞き、嘲る者は叱責を聞かない。
13:2 人はその口の実によって良きものを食べるが、裏切り者は不法を貪る。
13:3 自分の口を見張る者はたましいを守る。唇を大きく開く者には滅びが来る。
13:4 怠け者の心は欲を起こしても何も得ない。勤勉な者の心は豊かに満たされる。
13:5 正しい人は偽りのことばを憎む。悪しき者は悪臭を放ち、恥ずべきふるまいをする。
13:6 義のわざは誠実な道を保ち、悪のわざは道を誤らせて罪に導く。
13:7 富んでいるふりをして、何も持たない者がいる。貧しいふりをして、多くの財産を持つ者がいる。
13:8 富はその人のいのちの身代金である。しかし、貧しい者は脅しを聞くこともない。
13:9 正しい人の光は輝き、悪しき者のともしびは消える。
13:10 高ぶりがあると、ただ争いが生じるだけ。知恵は勧告を聞く者とともにある。
13:11 急に得た財産は減るが、少しずつ集める者は、それを増す。
13:12 期待が長引くと、心は病む。望みがかなうことは、いのちの木。

自分には知恵があるから、他の人の訓戒など不要と思っている人ほど、実は愚かなのです。特に親の「訓戒」に耳を傾けましょう。口は欲望が表れます。何でも欲しがらずに、「欲」を見張りましょう。

人の豊かさは表面では分かりません。心の豊かさ、主の祝福の豊かさ、愛情の豊かさなど、本当に「富んでいる」人となりましょう。単に物質的な「富」



ばかり求めても、主の守りはありません。命が危ういような危険には、せつかく貯めた富を「身代金」のようにして失うでしょう。しかし、主のために「貧しい」状況さえ受けるなら、何者にも「脅し」を受けることなく守られます。「期待が長引く」と心が病みますから、主に聞いて、それが単に自分勝手な願望か、主の御計画を知る必要があります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

